

観光力・消防力さらに前へ 塚本まさる

Tukamoto Masaru
奈良市議会議員

議会活動報告



新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、政府の自粛要請、7日には改正特別措置法(新型コロナ特措法)に基づく緊急事態宣言が東京圏や大阪圏で発令されました。市民の皆さまにおかれましては、不要不急の外出をお控えいただき、感染の防止へご協力をお願いいたします。奈良市公式ホームページ(<https://www.city.nara.lg.jp>)では随時、市の対応策など最新情報を発信しています。ご確認ください。



宿泊税の廃止や
防災・消防力向上など

市議定例会会すべての一般質問に登壇 多岐にわたる市政課題へ質問や提言

奈良市議会の自民党・結の会に所属する塚本勝は、令和元年度の市議定例会会すべての一般質問に登壇し、市が導入を検討していた宿泊税の廃止を主張、また観光渋滞の解消策や、わたしのライフワークにしている防災力や消防力の向上、近鉄大和西大寺駅周辺の整備やまちづくりの進捗状況をはじめ、多岐にわたる市政課題への質問や提言を行ってきました。令和元年度のわたしの市議会活動について、市民の皆さまにご報告いたします。

宿泊税導入、延期ではなく廃止を

市議会3月定例会の一般質問に登壇し、新型コロナウイルス発生後の奈良観光の状況について取り上げ、市が導入を検討していた宿泊税を延期ではなく、廃止にすべきと主張しました。

市議会3月定例会の一般質問に登壇し、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、市は観光経済のダメージが大きいとして導入延期を表明していました。

今後の宿泊税に対する考え方を問うわたしの質問に対し、市は「延期を決定したが、収束の見込みがつかば観光力を高めるための方策と、それを進めるための財源について、意見交換を継続していきたい」と答弁しました。

今年度予算の中には、大規模な災害発生時に指定避難所の鍵を所持した職員が避難所に到着できないケースを想定し、速やかに鍵を取り出せるキーボックスを市の避難施設に設置することが盛り込まれています。これが地域に「丸投げ

避難所の鍵、各自主防災組織へ委任

「丸投げにならぬよう要望」

「丸」との答弁がありました。わたしは先行きが不透明で宿泊事業者が大きな不安を抱えている中、その不安を払拭する意味でも宿泊税の導入は一旦、廃止にするタイミングだと主張。その上で経営面での支援や誘客の側面について行政と事業者が協力すべきと提言しました。



奈良の観光は市政の重要課題(天平行列東大寺参詣行列に参加)

西大寺駅の 南北自由道路

4月19日から供用開始

奈良市の最大の交通結節点となっている近鉄大和西大寺駅に近鉄が整備を進めていた南北自由通路(75・5m)が、4月19日から一部通行できるようになりました。

同駅は一日約4万8000人の乗降があり、地下通路と踏切の歩行者は同2800人になっていきます。しかしこの歩行通路は幅が狭く、またバリアフリー化に対応していませんでした。歩行者の安全

を確保するため市と近鉄は、線路を横断する南北自由通路の整備を進めてきました。

整備の計画では、今年夏ごろに南北自由通路の一部供用開始を予定していましたが、予定より早く通行が可能になりました。通路の幅は約6m、南北にエレベーター、エスカレーター、階段、箇所をそれぞれ設置し、エレベーターを利用して自転車の押し歩きも可能になっています。

北側の階段の1箇所とエスカレーターはまだ整備中です。南北自由通路と南側駅前広場のすべての完成は、令和3年3月末を予定しています。



19日から一部通行可能になった近鉄大和西大寺の南北自由通路

避難所の開設や運営の中で万一の事故があった場合は、自主防災組織の故意的なものを除き、すべての責任は市にあるとの答弁がありました。また市職員が関与しないということではなく、巡回などによりサポートに努めるとの回答がありました。わたしは、自主防災組織へ委任内容を十分に説明して明確化することを求めました。